

冬期企画展

飛鳥の

# 考古学

2015

## 飛鳥の古墳調査最前線

平成二十八年一月二十九日(金) — 三月六日(日)



- 開館時間 午前9時から午後4時30分(入館は午後4時まで)・月曜休館
- 入館料 一般270円(170円)/大学生130円(60円)・( )内は20名以上の団体料金  
高校生及び18歳未満、65歳以上は無料
- 交通 近鉄橿原神宮前駅から「かめバス(周遊)」で「飛鳥資料館」下車  
近鉄・JR桜井駅から石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車
- 主催 奈良文化財研究所飛鳥資料館・奈良県立橿原考古学研究所  
明日香村教育委員会
- 後援 文化庁・近畿日本鉄道株式会社

2015 冬期企画展

# 飛鳥の考古学 飛鳥の古墳調査最前線

平成28年1月29日(金)～3月6日(日)



檜隈寺瓦窯跡(西から)



かむら  
上5号墳出土馬具  
(奈良県立橿原考古学研究所蔵)



植山古墳出土歩揺付  
飾金具・三輪玉・鈎具  
(橿原市教育委員会蔵)

近年、飛鳥の古墳に関する新発見が相次いでいます。牽牛子塚古墳では、古墳の南方で新たな石室の存在が明らかとなり、都塚古墳は、我が国に類例のない多段構造の墳丘であることが確認されました。また、小山田遺跡では石を敷き詰めた大規模な堀が見つかり、これまで知られていなかった巨大方墳の一部と考えられています。そこで今回は、飛鳥の終末期古墳にスポットを当て、これらの最新の調査成果を含め、紹介したいと思います。

あわせて、飛鳥地域の平成26年度の発掘調査成果を展示します。飛鳥京跡苑池、飛鳥寺西方遺跡、市尾瓦窯跡などの調査が進み、檜隈寺瓦窯跡など新たな遺跡の発見もありました。これらの成果をあわせてご覧いただくことで、飛鳥のもつ幅広い魅力を再確認していただければ幸いです。

この冬は、新発見の飛鳥の遺跡・遺物とともに、7世紀の飛鳥の古墳の世界をぜひお楽しみください。

## ■展示期間

平成28年1月29日(金)～3月6日(日)  
月曜休館 2月7日(日)は無料開館

## ■時間

午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

## ■料金

一般270円(170円)/大学生130円(60円)  
高校生および18歳未満は無料  
※( )は20名以上の団体

## ■バス

- ・近鉄 橿原神宮前駅、飛鳥駅から「かめバス(周遊)」で「飛鳥資料館」下車
- ・近鉄・JR桜井駅から石舞台行きで「飛鳥資料館」下車
- ・近鉄大和八木駅から(土・日・祝日のみ)「橿原市コミュニティバス」で「飛鳥資料館」下車

■無料駐車場普通車11台分あり  
(近くに有料駐車場あり)

## ■周辺地図



奈良文化財研究所 **飛鳥資料館**

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601  
Tel: 0744-54-3561 Fax: 0744-54-3563  
http://www.nabunken.go.jp/asuka/

表面写真: 上5号墳出土馬具(奈良県立橿原考古学研究所蔵)  
植山古墳出土歩揺付飾金具・三輪玉・鈎具(橿原市教育委員会蔵)